

No. 1042

新春の天皇御一家

新春のやわらかい陽ざしにつつまれた皇居。
天皇御一家は、おそろいで新春を迎えられました。
浩宮様がバイオリンを、礼宮様もピアノをひかれ
るなど、楽しいお正月をお過しです。

郷土民芸に生きる

—山 梨—

武田信玄公で名高い山梨県、甲府市。甲府盆地の真中に昔の米倉を利用して作られた小さな庵りがある。竹馬庵と名付けられたこの小屋が齋藤岳南さんの仕事場である。郷土民芸を作り始めて30年、今年も干支にちなんだ幸運の福寅作りで忙しい毎日だ。一級建築士の腕前を持つ齋藤さんが、自分で作った庵りで奥さんの加寿枝さんとお茶を飲むのが唯一の楽しみである。郷土玩具研究家でもある齋藤さんは夜遅くまで、図案作りに没頭することが多い。

これまでも日本各地のお面を研究してきた。へき地の学校に出向いて郷土民芸の作り方を教えるのも重要な仕事の一つである。山奥の子供たちにとってタコ作りはまたとない楽しみになった。

齋藤さんの顔も子供たちと共に作る喜びにあふれている。後継者不足はこの世界でも深刻だ。しかし齋藤さんの家では長男の恭司さんが後をつぐことになった。

冬の日射しを受けて特別ご注文のダルマ作りに精を出す親と子。郷土民芸に生きる齋藤さんの技術はそっくり恭司さんに引きつがれていくことだろう。